

科目コード	R6012	科目名	理学療法評価学演習						
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数			
担当者	石倉 英樹・中川 敬汰								
授業の概要	理学療法評価について、徒手筋力検査法の実技・手法を中心に学習する。								
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける 修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける 高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける 地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力								
	筋力測定の目的や実施方法を、説明し、実施ができる。 代償動作を理解し、配慮して筋力測定をすることができる。 筋力評価を行った結果より統合と解釈を体験する。								
到達目標	実習に適した服装（ケーシー、ジャージ、短パン、ボロシャツなど）で参加すること。								
履修上の注意事項									
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修				
	1	オリエンテーション、理学療法評価の基礎 ・筋力測定に関する基礎知識、評価の事前に使う情報収集【石倉】			理学療法評価における心身機能・身体構造について復習しておく。（60分）				
	2	徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・頸部の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			頸部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	3	徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・体幹の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			体幹の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	4	徒手筋力検査法（上肢）　・肩甲帯の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			肩甲帯の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	5	徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（前半）【石倉】			肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	6	徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】			肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	7	徒手筋力検査法（上肢）　・肘関節- 前腕の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			肘関節-前腕の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	8	徒手筋力検査法（上肢）　・手関節- 手指の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			手関節-手指の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	9	徒手筋力検査法：頸部～上肢まとめ ・頸部～上肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】			頸部～上肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分）				
	10	徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法の実技（前半）【石倉】			股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	11	徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】			股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	12	徒手筋力検査法（下肢）　・膝関節の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			膝関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	13	徒手筋力検査法（下肢）　・足関節- 足趾の筋力検査に関する方法の実技【石倉】			足関節・足部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）				
	14	徒手筋力検査法：下肢まとめ　・下肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】			下肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分）				
	15	筋力測定に関する応用的知識 ・疾患に関する筋力評価、統合と解釈の実践【石倉】			臨床場面で使う徒手筋力検査についてイメージしておく。（60分）				
成績評価方法	実技試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。								
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード			
	新・徒手筋力検査法 原著第10版（共同医書出版）					978-4-7639-0041-8			
参考書	理学療法評価学 第6版補訂版（金原出版）					978-4-307-75068-4			
教員からのメッセージ	筋力評価は、身体の構造についての知識が不可欠であり、特に解剖学（骨格筋と支配神経）についてはよく復習しておくと良い。 また、実技に際して触診技術も必要となるため、復習しておくと良い。								
教員との連絡方法	オフィスアワーを活用すること								
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、理学療法評価（筋力評価）について、実技を行う。								